

JADECとくしま会報

発行
JADEC徳島

〒770-8503

徳島市蔵本町 3-18-15

徳島大学先端酵素学研究所

糖尿病臨床・研究開発センター内

会長 黒田 暁生



徳島県糖尿病協会ロゴマーク 2021.1

ごあいさつ

徳島県歯科医師会 地域保健部長 常務理事 下村 学

DiaMAT(災害時糖尿病医療支援チーム)と JDAT(日本災害歯科支援チーム)

JADEC 徳島の理事を拝命しております徳島県歯科医師会地域保健部長の下村学です。歯周病が糖尿病の合併症として広く知られるようになり、また、歯科医療・保健の現場では糖尿病に関して、多職種による医科・歯科連携がすすめられています。

今年度の DiaMAT(災害時糖尿病医療支援チーム)徳島の「糖尿病のある人の災害対策マニュアル」の改訂にかかるワーキングに参加をし、災害時の体調管理の章の中の、口腔ケアのページを担当いたしました。日本歯科医師会ホームページ内の動画配信サイト日歯 8020 テレビ内のコンテンツ「災害時こそ大切！お口のケア」への案内を目的とした QR コードの掲載や唾液腺マッサージのイラスト・解説の改編を行いました。動画の内容については、図の QR コードより日歯 8020 テレビ 「災害時こそ大切！お口のケア」から、①備えておくこと(非常持出袋に入れておくこと良い口腔ケア用品)、②自分でできること(避難所等で水不足の場合に自分で出来ること等)の動画をご視聴いただければ幸いです。

日本歯科医師会では、令和4年(2022年)3月2日に JDAT(Japan Dental Alliance Team: 日本災害歯科支援チーム)が、災害発生後おおむね 72 時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的として創設されております。先の能登半島地震において徳島県歯科医師会は、徳島県 JDAT として、本年2月には避難所における歯科医療・保健支援活動を目的とした災害派遣を実施いたしました。

今後も災害時のみならず、JADEC 徳島との連携を推進し、糖尿病に関する医療・保健の充実に向けて活動したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。



日本歯科医師会ホームページより



図 日本歯科医師会 日歯 8020 テレビ「災害時こそ大切！お口のケア」

徳島県糖尿病協会は「JADEC徳島」へ名称変更しました。

糖尿病のある人が、病名に対して不快な思いを抱いたり、生活習慣が悪い、寿命が短いなどの誤解や低い社会的評価を受け、不利になるなど苦しんでいます。そこで糖尿病に対する誤った考え方(スティグマ)をなくすために、国内外で様々な活動がなされています。わが国では、糖尿病があることがハンディキャップにならない社会を実現するため、病名そのものを英名の「Diabetes」のカタカナ表記である「**ダイアベティス**」に変更することが進められています。

その一環として、2024年6月から日本糖尿病協会は英語表記 “Japan Association for Diabetes Education and Care” の頭文字を組み合わせた「JADEC」と名称を改めました。その趣旨に賛同し、連携関係である徳島県糖尿病協会は、「JADEC 徳島」と表記を改めることとしました。しばらくは徳島糖尿病協会も併記し、混乱を避けたいと思います。JADEC 徳島はこれからも社会がダイアベティスについて正しく認識するよう啓発していきます。

JADEC 徳島会長 黒田暁生

DiaMAT（糖尿病医療支援チーム）徳島

徳島県立中央病院 白神 敦久

糖尿病患者さんは急性代謝失調を起こしやすいこと、インスリンなど特殊な治療器具や薬剤が必要であること、食事の量や質、摂取時間などの変化に影響を受けやすいことなどから、災害の影響を受けやすい状態です。災害時には血糖値が増悪することが報告されています。そこで平時から、災害時に備えた教育活動や災害時の患者支援が重要です。

東日本大震災や熊本地震の経験をもとに、日本糖尿病学会、JADEC を中心とし各県の行政や医師会と連携を取りながら、専門医、連携医、CDEJ、CDEL をメンバーとして災害時の糖尿病医療支援チーム(DiaMAT)設立が進められています。令和5年5月に各都道府県にDiaMAT設立の依頼が出されました。DiaMATの活動内容は①教育訓練②平時の備え③災害時の医療チームの派遣や直接的支援があります。

現在徳島県でもDiaMAT 徳島の設立、活動が進んでいます。私(白神)を代表に、JADEC 徳島会長の黒田暁生先生、LCDE 代表の鶴尾美穂先生に参画頂いています。他にも歯科医師、薬剤師、管理栄養士会、看護師、理学療法士の各職種の代表の方に参加頂いています。また徳島県よりオブザーバーを迎えております。更には東部、西部、南部地区ごとの代表者もお願いしており、全県的に対応できるメンバーを構成しております。

具体的な活動では、糖尿病を持つ方の災害対策マニュアルを改訂しました。これをもとに、平時の患者さんや医療従事者の教育を進めていく予定です。また、行政とも連携し、インスリン依存状態の方の把握や、インスリンの備蓄量の把握を進めていく予定です。

8月8日に南海トラフ地震臨時情報が発表されたことは記憶に新しいと思います。いつ大規模災害が起きてもおかしくないことを意識し、DiaMAT 徳島はさらに活動を進めていきたいと考えております。



「糖尿病のある人の災害対策マニュアル」第3版より抜粋

◀ JADEC 徳島友の会 交流会 ▶

徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター 鈴木 麗子

コロナ禍で休止しておりました JADEC 徳島友の会交流会を5年ぶりに開催しました。

テーマは、「災害への対策と災害時の対策」です。「災害は時を選ばない！」災害への備え、準備できていますか？として、調理実習と講演会を行いました。

午前は徳島県栄養士会松村晃子先生から「平時から親しむ簡単調理 ～災害時に備えて～」と題して、参加者がレシピを見ながら調理し食事をしました。午後は、徳島県立三好病院の前川裕子先生から、「被災地での経験と災害対策」と題して、ご講演いただきました。ご自身の経験を元に、災害に備える準備(外出時は普段から3日分の薬を持ち歩くなど)、命を守る行動、命をつなぐ行動、健康を守る行動を教えてくださいました。徳島県鳴門病院の出口憲市先生から、「フェーズに合わせた災害リハビリテーション」と題して、災害に対応できる健康づくりとして、筋力トレなどを学びました。



《 JADEC 徳島 山桃の会 》

徳島大学病院 内分泌・代謝内科 倉橋清衛

9月29日、コロナ禍のため5年ぶりに「山桃の会」のバス遠足が開催されました。今回の目的地は阿波市土成町の「天然温泉 御所の郷」で、糖尿病を持つ方が7名、医療者5名、そして徳島大学医学科3年生3名が参加しました。

まず総会で予算や今後の活動についての話し合いを行なった後、和風レストラン「秋月」での昼食。おいしい食事を楽しみながら、参加者同士で近況報告や健康管理についての話題が広がり、和やかな時間が過ぎました。

昼食の後は、筆者による講演「ランチ後のリフレッシュ！楽しく運動して血糖値改善と体力アップを目指そう」を行いました。この講演では、血糖値の改善やフレイル予防のために日常生活に取り入れやすい簡単な運動療法を、実践を交えて学んでいただきました。そして、最後に徳島大学の医学科3年生が、徳島や糖尿病にまつわるクイズを開催。知識を深めながら楽しむことができ、会場は終始和気あいあいとした雰囲気になりました。

久しぶりの遠足で、糖尿病を持つ方同士が直接交流できる貴重な機会となり、互いに励まし合いながら過ごせたことがとても印象的でした。次回の山桃の会ではより多くの方と一緒に過ごせることを楽しみにしたいと思います。



《 阿南医療センター ひまわりの会 》

阿南医療センター 中野 美恵子

JA徳島厚生連阿南医療センターは、2019年阿南共栄病院と阿南中央病院が合併して開設されました。栗飯原医師を中心に他科と連携をとりながら療養支援を続けています。糖尿病は患者さん自身が「セルフケア」を行うことでコントロールを行う疾患です。しかし、1人で毎日糖尿病と向き合うことが困難になることも予測されます。そこで、患者会の仲間で「どうやっていいか、わからなかった」と話しあうことで患者会の強みを生かすことが出来ました。先日の患者会では、「感染予防を学ぶ」と題して手作り石鹸を作り自己流の手洗いを見直すことができました。

医療者・患者様お互いに支えあいます。



《 天満病院 まんてん会 》

天満病院 賀川義光

令和6年6月23日、天満病院と阿南天満クリニックで、糖尿病患者会“まんてん会”が開催されました。今回は、2か所をリモートで繋いだ上での対面開催となりました。テーマは「災害時の対応について学び備えよう」と題され、30名の方に参加いただきました。薬剤師、看護師、管理栄養士、理学療法士より災害が起こる前にできる事前準備について講義が行われました。災害に備えて何を準備しておけばいいのだろうか・・・などを話し合ったり、災害用の食事の試食や、避難所でも出来る運動など、コロナ禍では出来なかった対面開催だからこそできる内容にすることが出来ました。今後も会員様の意見や要望を取り入れながら、患者会の活動を充実できるよう努めていきたいと思ひます。





11月14日はWorld Diabetes Day (世界糖尿病デー)

World Diabetes Day は、世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために、2006年12月20日に国連総会において公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日です。青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」がシンボルマークです。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、「Unite for Diabetes」(糖尿病との闘いのため団結せよ)というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。徳島県でのブルーライトアップや、イベントを紹介します。

《 2024年度 JADEC 徳島のイベント案内 》

活動名	実施日/期間	開催場所
糖尿病ウォークラリー	10月27日(日)	徳島中央公園
遍路ウォーク	11月4日(月)	18番恩山寺～19番立江寺
ブルーライトウォーキング	11月9日(土)	徳島中央公園
ブルーライトアップ	11月9日(土)～12月2日(月)	阿波おどり会館(9日:点灯式)
糖尿病フォーラム徳島2024 糖尿病市民公開講座	11月24日(日)	ふれあい健康館

糖尿病フォーラム徳島2024

“糖尿病で困ったこと、ないで?”

日時:11月24日(土)11時～14時 会場:ふれあい健康館

糖尿病チェック:ヘモグロビンA1c、血糖測定 体組成・握力測定

健康相談:糖尿病専門医師、看護師、管理栄養士、歯科医師、
歯科衛生士

展示 等

12時～13時 パネルディスカッション ～スティグマについて考える～

第24回徳島市医師会糖尿病市民公開講座

日時:11月24日(土)14時～16時30分

会場:ふれあい健康館

★特別講演:

関西電力病院 山田 祐一郎先生

演題:「糖尿病」から「ダイアベティス」へ
-言葉は良い医療のために-

★市民のための糖尿病劇場

続・震災時の糖尿病のセルフマネジメント

《 2023年徳島県内のブルーライトアップ 》



《 編集後記 》

JADEC 徳島の会報第11号を発行いたしました。発行にあたり、ご寄稿頂いた先生方に御礼申し上げます。

南海トラフ大規模地震の可能性を鑑み、「日頃からの地震への備え」の再確認災害にあったら、災害時の体調管理、避難所での生活などを記載した「糖尿病のある人の災害対策マニュアル」第3版を発刊いたしました。是非ご一読ください。

今後とも皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

《 連絡先 》

徳島県糖尿病協会

徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター内

URL: <http://tokutokyo.org/>

TEL 088-633-7587